

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書様式】

(モデル地域名 広島県竹原市 地域)

I. 地域の概要 (平成 15 年 4 月現在)

竹原市地域 (モデル校数: 小学校 1 校, 中学校 1 校, 高等学校 1 校)
竹原市立吉名小学校
竹原市立吉名中学校
広島県立忠海高等学校

II. 平成 15 年度の実践研究の概要

1. 推進地域の研究の見通しを踏まえて定めた、モデル地域としての現状及び研究の計画・見通し等

(1) モデル地域における「総合的な学習の時間」の現状と問題点

竹原市地域協議会 (三部会制) によって、小学校・中学校・高等学校の三校が定期的に研修を行ってきた。そして、小・中・高の 12 年間を見通して、付けたい力やその手だて、及び教科や単元、内容系列の系統図を作成して取組みを進めている。

今後は、「総合的な学習の時間」の学習内容において、教科等との関連をより明確にして、そのためには具体的にどのような活動を仕組んでいくかを考える。また、児童・生徒が自分で振り返って的確に評価することができるような評価方法の研究を進めていかなければならないと考える。

(2) モデル事業の実践研究について

[2 年間を通じた研究の計画・見通し]

① 解決すべき課題

- ・小・中・高の発達段階に応じたカリキュラムの作成と、付けたい力と教科との関連を明確にした、小・中・高の有機的連携を加味した取組みを推進する。

② 具体的な取組み・方策

- ・発達段階に応じて、論理的に考え、豊かに表現する力を育成する指導の在り方について、身に付けさせたい資質・能力を、小・中・高の 12 年間を見通して育てるという視点に立ってカリキュラムの検討を、竹原市地域協議会の三部会の中で協議しながらまとめていく。そして、教師は見通しを持って繰り返し指導し、児童・生徒も何を学び取るかが明確になり、自己評価がしやすくなる。

③ その取り組みの時期

- ・15 年度は、小・中・高の発達段階に応じたカリキュラムの内容や単元及び付けたい力等の系統性を図り、付けたい力の手だてや評価規準を明確にしていく。16 年度は、15 年度の研究や実践をもとに、発達段階に応じたカリキュラムにもとづいて、小・中・高の教員の全体研修や児童・生徒の有機的な連携を意図的・計画的に設定していく。そして、児童・生徒の評価活動の研究を推進していく。

〔モデル事業としての取り組みの評価の観点と検証の方法〕

評価の観点としては、次の四点が挙げられる。

- ・「総合的な学習の時間」と各教科の関連をいかした指導計画を作成する。
「総合的な学習の時間」に取り組んでいる内容が、具体的にどの教科のどのような力を用いて学習されているかを、教師や児童・生徒も意識しながらなされなければならない。
- ・小・中・高の12年間を見通した評価規準を作成する。
小・中・高で共通した評価の観点を示して取り組む。
- ・それぞれの発達段階において、論理的に考え、表現する力を育成する指導の在り方を研究する。
小・中・高が共通して特に育てたい力として「論理的思考力・表現力」に焦点を当てた取り組みをしていく。
- ・自己のよさを自覚し、自分の生き方を考えるカリキュラムを作成する。
小・中・高の有機的な連携によって、児童・生徒相互が刺激合って自己を見つめ、互いに高まり合う場となる。

検証の方法としては、授業公開等を積極的に行う中で小・中・高の教師による評価、また招聘した指導教授や指導主事、他校教師、保護者、地域の方々等による評価で行った。更に、報告会や報告書、アンケートによって、取り組みを公開することで広く意見を頂き検証してきた。

2. 平成15年度の取り組み概要

研究主題

「教科で学んだ力をいかし、自らの生き方を考える『総合的な学習の時間』

— 小・中・高の連携をいかして、論理的に考え、表現する児童・生徒の育成 —

知識を鵜呑みにするのではなく、「なぜ」の発想のもとに物事を深く考え、その結果に至る根拠を明らかにしようとする、論理的思考力の育成と、この論理的思考力にもとづいて相手や場を考えて、自己の考えを豊かに表現する力の育成を図る。そして、教科で培った基礎的・基本的な力をいかして、自ら主体的に考え行動する児童・生徒の育成を図る取り組みを、小・中・高のそれぞれの発達段階に応じて系統的に取り組んでいく。

これらの実践を進めるために、小・中・高で協議を重ねて「総合的な学習の時間」の12年間を見通した全体構想図を作成し、これにもとづいて「論理的思考力・豊かな表現力」の育成に関わる系統的な指導図や教科・道徳・特別活動との関連に関わる系統的な培いたい力、及び系統的な内容系列等を作成し実践していった。「世界的視野で考え、地域で行動する。地域で考え、世界へ発信する。」ことを意識して取り組みを進めていった。

仮説として、児童・生徒に感動を与える体験や内発的な疑問を誘発させることによって、意欲・関心を高め、問題（課題）解決に臨む姿勢が明確になるであろうとし、更に、筋道立てて考えたり、表現しなければならないという「場」を設定し、的確な評価を行えば論理的思考力や豊かな表現力が培われるものとした。

上記仮説をもとに、小・中・高の合同研修（鳴門教育大学 村川雅弘教授招聘）や授業公開による研究協議等を積極的に行っていった。また広島大学 吉田裕久教授を招聘し、本研究の「論理的思考力・豊かな表現力」の取り組みの方向性を検証していった。

2月21日（土）には、138名の参加を得て中間報告会を開催することができた。日本体育大学 川本信幹名誉教授、兵庫教育大学 金丸晃二助教授、尾三教育事務所 三村章文指導主事を招聘しての講演・講評を頂いた。

(別紙2)

「総合的な学習の時間」モデル事業 竹原市地域

15年度取り組みの概要, 16年度の計画

1 15年度の取り組み概要

実施時期	取り組み概要	取り組みのねらい等 (授業の評価観点)
平成15年 5月	「総合的な学習の時間」モデル事業研究体制の確立	
平成15年 6月	「総合的な学習の時間」モデル事業 推進地域の指定	
平成15年 7月22日(火)	「総合的な学習の時間」モデル事業 主題及び推進体制の具体化	
平成15年 8月11日(月)	(竹原市地域推進協議会) 小中合同研修会	(講師 芸北町立芸 北中学校河野通之教 務主任)
平成15年 8月25日(月)	(竹原市地域推進協議会) 今年度の具体的な取組みについて (全体計画, 重点項目の確認)	(講師 尾三教育事 務所 三村章文指 導主事)
平成15年 9月29日(月) 御調中・高	(推進地域) ・推進地域訪問 ・モデル事業の趣旨等 (「総合的な学習の時間」の課題, モデル事業を実 施した経緯, 期待している成果)	文部科学省 (大杉昭英 視学 官)
平成15年 10月6日(月)	(竹原市地域推進協議会) 各校の実践交流 (今年度の具体的な取組みについて)	(講師 尾三教育事 務所 三村章文指 導主事)
平成15年 10月27日(月)	(竹原市地域推進協議会) 事業の趣旨ねらいを踏まえた実践 各校の実践交流 (全体構想の構築及び児童生徒の実態)	(講師 尾三教育事 務所 三村章文指 導主事)
平成15年 11月4日(火)	(竹原市地域推進協議会) 事業の趣旨ねらいを踏まえた実践 各校の実践交流 (仮説及び年間計画の交流)	
平成15年 11月5日(水)	(竹原市地域推進協議会) 中高連携 忠海高生との交流及び教員の出前授業(吉名中3年 生対象)	

平成15年 11月6日(木)	(竹原市地域推進協議会) 小中連携 小中学校の交流合同授業 (吉名小5年及び吉名中1年の交流事業)	
平成15年 11月14日(金)	(竹原市地域推進協議会) 吉名小学校5年授業研究	(講師 尾三教育事務所 三村章文指導主事)
平成15年 11月15日(土)	(竹原市地域推進協議会) 忠海高等学校学校開放行事 (オープンスクール参加)	
平成15年 11月22日(土)	竹原市地域推進協議会 吉名中学校公開研究会 (1年「総合的な学習の時間」) 参観・協議会	
平成15年 11月27日(木)	(竹原市地域推進協議会) 事業の趣旨ねらいを踏まえた実践 各校の実践交流 全体構想の構築	
平成15年 11月27日(木)	竹原市小・中学校「総合的な学習の時間」研修会 吉名小・吉名中全体会で実践発表	
平成15年 12月4日(木)	(竹原市地域推進協議会)	(講師 鳴門教育大学 村川雅弘教授, 尾三教育事務所 三村章文指導主事)
平成15年 12月16日(火)	(竹原市地域推進協議会) 1年次の各校のまとめ 中間報告に向けての検討 全体構想の練り直し (付きたい力の系統性・教科の関連等)	(講師 尾三教育事務所 三村章文指導主事)
平成15年 12月16日(火)	(竹原市地域推進協議会) 1年次の各校のまとめ 中間報告会に向けて (カリキュラム・構想図, 教材人材等)	(講師 尾三教育事務所 三村章文指導主事)
平成15年 12月26日(金)	(竹原市地域推進協議会) 小中合同研修	
平成16年 1月5日(月)	(竹原市地域推進協議会) 小中合同研修	
平成16年 1月8日(木)	(竹原市地域推進協議会) 1年次の各校のまとめ 中間報告会に向けて (論理的思考力・豊かな表現力の系統性)	(講師 尾三教育事務所 三村章文指導主事)

平成16年 1月14日(水)	(竹原市地域推進協議会)	
平成16年 1月15日(木)	(竹原市地域推進協議会) 合同研修会 論理的思考力・豊かな表現力の育成	(講師 広島大学大学院吉田裕久 教授)
平成16年 1月23日(金)	(竹原市地域推進協議会) 研究推進について 報告会に向けて	(講師 尾三教育事務所 三村章文指導主事)
平成16年 1月26日(月)	(竹原市地域推進協議会) 吉名小4学年研究授業	(講師 鳴門教育大学 村川雅弘 教授)
平成16年 1月29日(木) 1月30日(金)	(文部科学省) 「総合的な学習の時間」研究協議会 実施上の諸課題を研究協議し、一層の充実を図る。	全体会・部会 (事例発表及び交流)
平成16年 2月6日(金)	(竹原市地域推進協議会) 報告会に向けて (打ち合わせ及び準備)	
平成16年 2月16日(木)	(竹原市地域推進協議会) 全体研修会(広島大学水産実験所) 『海を題材にした「総合的な学習の時間」取組み』 講義・実習	(講師 広島大学大学院 大塚攻 助教授)
平成16年 2月20日(木)	(竹原市地域推進協議会) 報告会の予行・打ち合わせ及び準備	
平成16年 2月21日(土)	(竹原市地域推進協議会) 中間報告会 県内から小・中・高の教職員及び学校関係者等が参加(評価を通しての課題解決に向ける)	(講師 日本体育大学 川本信幹名誉教授, 兵庫教育大学金丸晃二助教授, 尾三教育事務所三村章文指導主事)
平成16年 3月2日(火)	(竹原市地域推進協議会) 中間報告会の反省 次年度の方向性	(講師 尾三教育事務所 三村章文指導主事)
平成16年 3月10日(水)	(竹原市地域推進協議会) 中間報告書の作成にあたって 次年度の取組み	
平成16年 3月18日(木)	(竹原市地域推進協議会) 小・中・高合同研修	(講師 国際学院大学 久次弘子 助教授)

2 16年度の計画

実施時期	取り組み概要	取り組みのねらい等 (授業の評価観点)
平成16年 4月	(竹原市地域推進協議会) 「総合的な学習の時間」モデル事業研究体制の確立、本年度の計画(重要内容の具体化)	カリキュラムづくり 検証方法等
4月	(竹原市地域推進協議会) 部会 部会による具体的な計画	教材の見直し つきたい力の系統性
平成16年 5月	(竹原市地域推進協議会) 児童・生徒の実態分析、検証方法	講師招聘
5月	(竹原市地域推進協議会) 部会 部会による具体的な取り組み 授業研究の推進	
平成16年 6月	(竹原市地域推進協議会) 授業研究の推進・合同研修会	講師招聘 鳴門教育大学 村川 雅弘教授
6月	(竹原市地域推進協議会) 部会 部会による具体的な取り組み	
平成16年 7月	(竹原市地域推進協議会) 研究会に向けた検討	講師招聘
7月	(竹原市地域推進協議会) 部会 要項の検討	
平成16年 8月	(竹原市地域推進協議会) 要項の検討・合同研修会	講師招聘
8月	(竹原市地域推進協議会) 部会 部会による具体的な取り組み	
平成16年 9月	(竹原市地域推進協議会) 研究会にむけた取り組み	
9月	(竹原市地域推進協議会) 部会 研究会に向けた取り組み	
平成16年 10月 10月22日(金) 10月	(竹原市地域推進協議会) 研究会の準備 研究会(小・中) 高校との連携 (竹原市地域推進協議会) 部会 研究会の準備	講師招聘 鳴門教育大学 村川 雅弘教授

平成16年 11月	(竹原市地域推進協議会) 研究会の反省(課題と報告書作成に向けて)	講師招聘
11月	(竹原市地域推進協議会)部会 部会による具体的な取組み (全体及び各校の実践)	
平成16年 12月	(竹原市地域推進協議会) 報告会の計画	講師招聘
12月	(竹原市地域推進協議会)部会 部会による具体的な取組み (報告書の作成)	
平成17年 1月	(竹原市地域推進協議会) 報告書の検討・全体研修	講師招聘
1月	(竹原市地域推進協議会)部会 部会による具体的な取組み (報告会の準備)	
平成17年 2月 2月未定	(竹原市地域推進協議会) 報告会の打合せ 報告会	講師招聘
2月	(竹原市地域推進協議会)部会 報告会のまとめ	
平成17年 3月	(竹原市地域推進協議会) 事業の課題及び成果	
3月	(竹原市地域推進協議会)部会 事業の課題及び成果のとりまとめ	